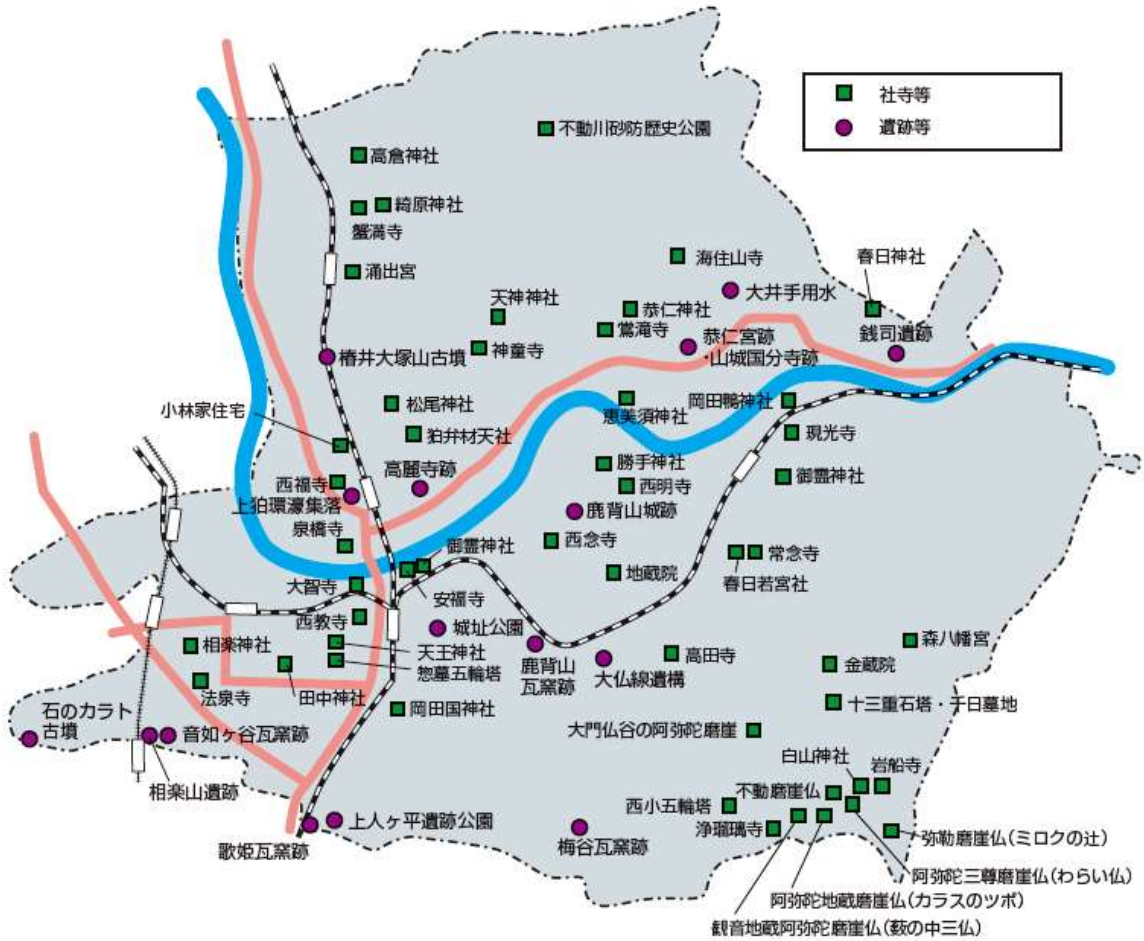


# ⑧ わたしたちの市の文化財 ざい

木津川市には、お寺や神社、いせき遺跡など数多くの文化財が残っています。自分たちの校区や周りの文化財を調べてみましょう





ゆき子さん

今から1700年  
ぐらい前のおはから  
しいよ。  
だれのおはか  
かな？

つばい おおつかやま こふん  
椿井大塚山古墳 (古墳時代)



今から1300年  
前に約5年間国の中  
心が木津川市にあっ  
たんだって。



はるお君

く のみやだいこくでんあと なら  
恭仁宮大極殿跡 (奈良時代)



なつ子さん

奈良の都で使う屋根瓦  
をつくっていたんだよ。  
当時の建物を復元して  
いるよ。

しょうにん が ひらい せきこうえん  
上人ヶ平遺跡公園 (奈良時代)



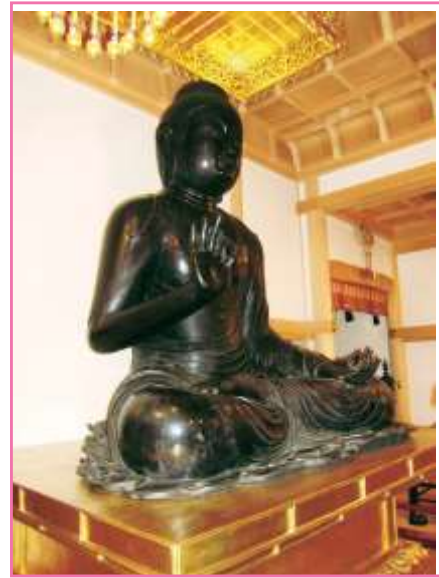


あきお君

大きな<sup>ぶつぞう</sup>仏像だね。  
銅<sup>どう</sup>で作られた仏像で、  
重さは2トン以上ある  
んだって。

高さ：約2.4m  
銅造 奈良時代

かにまんじほんぞん しゃかによらいざぞう  
蟹満寺本尊 (釈迦如来坐像)



仏像が9体もあるよ。



はるお君

高さ：約2.2m  
約1.4m  
木造 平安時代

じょうるりじほんぞん くたいあみだによらいざぞう  
浄瑠璃寺本尊 (九体阿弥陀如来坐像)



ゆき子さん

こわ  
怖い顔をしているね。  
おこっているのかな。  
なぜ、右足を上げてい  
るのかな？

高さ：約3m  
木造 室町時代

しんどうじほんぞん ざおうごんげんぞう  
神童寺本尊 (蔵王権現像)





あみださんぞんまがいぶつ  
阿弥陀三尊磨崖仏(わらい仏)

道ばたにあるよ。  
だれが、何のため  
にほったのかな？



ゆき子さん

高さ：79cm  
かまくら  
鎌倉時代



ひめ  
いづみ姫

こくほう けん じゅうようぶん かざい  
木津川市内には・国宝6件、重要文化財  
45件があって、京都府で2番目に多い  
のですよ。

これからも、みんなが大切にして守っ  
ていてほしいものです。

大きなお地藏様だね。  
たてももの  
昔は建物の中にあっ  
たらしいよ。



なつ子さん

高さ：5m  
鎌倉時代



せんきょうじ せきぞう じぞう ぼさつ ざぞう  
泉橋寺石造地藏菩薩坐像



たて：約74cm  
 よこ：約90cm  
 作成年：江戸時代  
 文政11年(1828)

木津浜絵馬 木津船中奉納

江戸時代の木津を描いたものだね。  
 船で何を運んでいるのかな？  
 灯笼や旅館は今でも見ることができるね。  
 木津だけでなく、対岸の上粕の集落も描かれているね。



あきお君



明治時代に加茂から鹿背山を  
 こえて奈良まで鉄道が通っていた  
 んだよ。  
 この石で作られた台の上に線  
 路があったんだね。  
 線路あとは今どうなってい  
 るのかな？



ゆき子さん

大仏線遺構 (鹿背山橋台・明治時代)

いせき ぶっかく  
**●木津川市内の遺跡や寺社仏閣**



名称：袈裟禪文銅鐸（相樂山遺跡・弥生時代）

場所：相樂台 8 丁目から出土

弥生時代につくられたもので、儀式に使うものと考えられています。

集落からはなれた山の中に埋められた形で発見されることが多いものですが、使うものを埋めて保管していたのか、使わなくなったものを埋めてしまったのか、よくわかっていません。

この銅鐸も学研都市平城・相樂地区の工事中、山を削ったときに発見されました。

現在、銅鐸は山城郷土資料館に展示され、発見場所には位置を示すプレートが埋められています。



名称：音如ヶ谷瓦窯跡（奈良時代）

場所：相樂台 7 丁目

奈良時代に平城京内にある法華寺阿弥陀浄土院の瓦を焼いた窯跡です。

奈良市から京都府南部に広がる奈良山丘陵一帯には奈良時代に瓦や土器を焼いた窯が数多く存在し、都へ供給する物資の製造場所でした。

この遺跡には 4 基の窯があり、2 基を復元して展示しています。



名称：大智寺木造文殊菩薩坐像（鎌倉時代）

場所：木津雲村

大智寺は、古くは「橋柱寺」と呼ばれていました。行基が木津川に架けた橋が大雨で流され、残った木の柱から掘り出したこの仏像を本尊としたことが名前の由来となっています。

昔は、木津川に架かる橋のたもとにある施設として対岸の泉橋寺とともに重要なお寺だったと考えられます。

この仏像は国の重要文化財に指定されています。同じく重要文化財である十一面観音立像もあります。



名称：鹿背山城跡（室町時代）

場所：鹿背山鹿曲田

鹿背山城跡は、標高136mの山頂にある戦国時代の山城です。山城は、江戸時代の城とは異なり、山の斜面を削って、溝を掘ったり、土壁を盛ったりして造られた城です。現在も、防御のための溝や土壁が山の中にのこっています。

頂上からは、木津川と木津のまちだけでなく、京田辺や奈良・生駒までを見渡すことができ、木津をおさえる重要な場所にあることがわかります。



名称：銭司遺跡（奈良時代～）

場所：加茂町銭司

銭司遺跡は、奈良時代のお金である「和銅開珎」を製造していた遺跡と考えられています。銭司地域では実際に和銅開珎が出土したり、お金を造るために必要な道具や溶けた銅が固まったものなど製造していたことを裏付けるものが出土しています。



名称：海住山寺五重塔（鎌倉時代）

場所：加茂町例幣海住山

海住山寺は、恭仁宮が遷都された瓶原の地を見下ろす山頂にあります。十一面観音立像を本尊とする元来「観音寺」でしたが、鎌倉時代に再び整備され、現在に至ります。五重塔は国宝に指定され、他に文殊堂や四天王立像など数多くの文化財があるお寺です。



じょうるり じきんじゅうのとう へいあん  
**名称：浄瑠璃寺三重塔（平安時代）**  
 にしお  
**場所：加茂町西小**

浄瑠璃寺は、奈良県との府県境に位置する当尾地いきにあるお寺です。中央の池を挟んで西に本堂・東に三重塔を配置しています。本堂には国宝の九体阿弥陀如来坐像を、三重塔には重要文化財の薬師如来坐像を安置しています。阿弥陀如来坐像が9体ある理由は、全ての人を救うために必要な救い方の数を表しています。



がんせんじ みるまち  
**名称：岩船寺三重塔（室町時代）**  
 いわふね  
**場所：加茂町岩船**

岩船寺は、浄瑠璃寺と同じく当尾南部のお寺です。寺の記録では奈良時代に開かれたと伝えられていますが、現在の形は、室町時代になってからだと考えられています。境内には重要文化財に指定された三重塔の他、石仏や石塔などが置かれています。また「あじさい寺」とも呼ばれるほど、境内一帯にあじさいが植えられています。



しせき こまであと あすか  
**名称：史跡高麗寺跡（飛鳥時代）**  
 かみこま  
**場所：山城町上粕**

史跡高麗寺跡は、飛鳥時代につくられた古代のお寺です。

木津川の北側に位置し、大阪湾から木津川を遡る船の目印となる施設であったと考えられています。

金堂跡や講堂跡の他、塔跡には中心の柱を置いた礎石も残っています。



かみこまかんごうしゅうらく  
**名称：上粕環濠集落（室町時代～）**  
**場所：山城町上粕**

通称「大里」と呼ばれる上粕の環濠集落は、周囲が堀で囲まれた細長い形をしたまちです。戦さの多い時代にまちを守るため、考え出されたもので、戦さの時には、入口を閉じてたてこもります。集落内は7地区に分かれており、現在もその単位が使用されています。